



深坂さくらえ

4月6日

発行者：
下関深坂さくら友の会
下関市横野町 1-13-1

TEL:0832-58-3277
HP:<http://WWW.h2.dion.ne.jp>

SAKURAEといふ日本語を桜と共に日本文化として世界に向かって発信していくのです。しかし、それだけに終わらない、日本らしさ、ゆかしさを表現できるよう工夫し、充実させていきました。

明けましておめでとうございます

維持管理作業を行つて行き、特にについては千五百本の一本一本に履歴書の作成が完了できればと思つています。

桜四方山

「さくら祭り」、「桜フェスティバル」、「さくらフェスタ」など色々な名が提案された。悪くは「さくら」と「祭」、「フェスティバル」で変わり映えがしない。何かいい名はないかとブレーンストームингをした。誰かが国語辞典から引っ張り出した「さくらえ」という言葉を使つて、「深坂さくらえ」と提案した。「さくらえ」とは何だ。

去年の十一月で千五百本の桜の全体を把握することができました。これもひとえに会員と部会の方々のお陰です。

心よりお礼申し上げます。しかし、これは出発点でしかありません。終わりの無い作業ですが、くじけることなく楽しく、いい汗かけるようにと考えています。今年は、

このような作業を五年位続けられれば、深坂もより良い環境になるのではない

平安時代から鎌倉時代に、桜に感謝して開いた法会（ほうえ）を桜会（さくらえ）といい、法会に続いて観桜会をする慣わしがあつたそうである。「さくらえ」は観桜会のことをらしい。漢字で書くと「桜会」となる。しかし、これをサクラカイと読むと、医療法人やテニスの愛好グループなどもあるが、大日本帝国時代の物騒な政治秘密結社や、右翼団体、暴力団などイメージの悪いものもあるようだ。だからサクラカイでなくサクラ工の方がいい。

二年目を迎えた「さくら友の会」は、発足時の勢いを失わず、力強く前進を続けています。特に維持管理部会では、二ヶ月に一度の定例会では十分ではないと判断し、間の月に有志で維持管理活動を行つてきました。その成果が出て、見違えるように桜の根元がすつきりとなりました。みんなは、今の深坂のその情景を脳裏に浮かべながら、新年の美酒を味わつておられることでしょう。そして今年度は、深坂で、さくら友の会が主催して「深坂さくらえ」を開催できるよう準備を進めています。

会員交流部会だけでなく全会員の協力を必要とする一大イベントになります。これは、「深坂さくら友の会」の存在を広く知つて貰うチャンスと認識しています。今年は此れに力を注ぎます。

明けましておめでとうございます

下関深坂さくら友の会 会長 福富征男

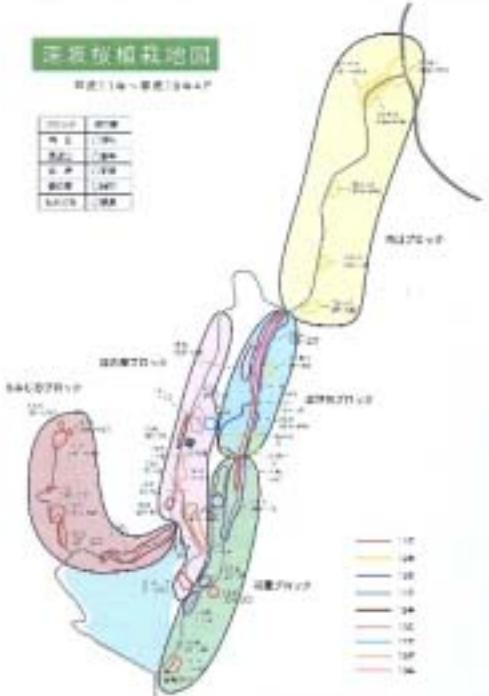
毎春、深坂の森で行われていた、自治会連合会主催の「桜祭り」開催が未定の中、さくら友会主催の観桜会「深坂さくらえ」を開くことを考えます。観桜会と書いて「さくらえ」と読みます。古くから日本各地にそういう名の観桜会があるよう

です。それらは、ただ、ドンちゃん騒ぎをするだけではなく、桜に象徴される大自然を味わい感謝する心を抱いて、大勢で桜を見学め、春の訪れを喜ぶ会なのです。そういう日本らしい心の現れた桜の祭りにしたいと、名を選びました。



直し
* プロック分け（5プロック）
* 作業の効率化を図る
* 全体作業年6回の見

この二つに重点を置き、
桜監理カードの作成



(部会長 江原寛治)

日本では花はそのまま桜を意味することが多い。花見などがそれだ。全ての花、全ての自然を桜に代表させて、「さくらえ」という名の自然に感謝する観桜会を作つて、さくら友の会を作つて、SAKURAEがそういう趣旨のお花見として定着していけばいいということになつた。